

**特例債の期限が迫る中、建設部等には経験・知識を持つ職員を充てるべきでは**

市長／事業完遂のため体制作りは必要



柴田 恭成 議員

**移住・定住対策について**

**柴田議員** 廃校跡地に宅地を造成し分譲すれば、定住促進と人口増にも繋がり、地域活性化になると思うが。

**松本市長** 土地の有効利活用を図るためにも検討したい。

**柴田議員** その財源に地方創生交付金が活用出来ないのか。

**企画振興部長** 今年度の

第二次補正予算に、地方創生拠点整備交付金が盛り込まれ、地方創生への波及効果が期待できるハード事業も交付対象とな

り、これが活用できる可能性がある。

**柴田議員** 廃校になった学校施設等の半数は借地である。利活用するために、その借地の契約見直しが必要だと思うが。

**副市長** 議員ご指摘のような対応をせざるを得ないと考えている。

**6月の豪雨による被害状況と対策について**

**柴田議員** 市からの被害者に対する見舞金は、どのように行ったのか。

**松本市長** 支給要綱に基づいて出した。今後この要綱の見直しも考えていかなければいけない。

**柴田議員** 今回の災害では、河床の低い浦口橋に竹等が詰まり、大量の雨水が商店街の方に流れ込む被害が発生した。ここは高さ、幅ともに狭く、救急車や消防車両も入れない。今後同様の被害が起らないためにも、早急に拡幅すべきだと思うが。

**松本市長** 前向きに対処していかなければならないと思っ

**柴田議員** 豪雨で問題となった有馬川は、県の管

理であるから、県と協議して、可動堰の改修はできないのか。

**農林水産部長** 県に相談したところ、農地被害の実態がないため、事業の適用が難しいとのことだった。必要に応じて水利組合とも協議しながら、様々な方向性で検討していきたいと思っ

**職員の変動配置について**

**柴田議員** 合併特例債の活用期限が迫る中、災害も発生した。今後においては、建設部・農林水産部には経験・知識を持った職員を異動・配置すべきだと思っ

**副市長** 議員からは、合併特例債に絡めて、前から建設部の体制について疑問をお持ちだと指摘を受けている。若干ではあるが、外部の委託業者等をお願いし、職員の配置などをやっている。出来ることからやっていきたい。

**※その他の質問**

・地籍調査・換地処分  
・大型施設建設に伴う財源等を含めた取り組み状況について

**用地の了解が出来ているところから事業に着手すべきでは**

市長／同感である



田中 次廣 議員

**道路改良事(線越事業関係)の進捗状況について**

**田中議員** 道路改良工事の進捗状況は。

**松本市長** 昨年度の線越事業は23事業で、8月末迄に9事業が完成、残りも年度末までに完成見込みである。線越の理由は、用地補償の難航や、地元の調整に時間を要したことなどである。

**田中議員** 線越の理由に付いてもう少し詳しい説明を。また、事業に着手するとき何を優先順位の基準にするのか。

**建設部長** 線越の理由は、地元からの要望路線を工事する際、要望書に関係者の印鑑をいただいても、事業に入ると、こちらにおられない方の相続が発生し、用地の同意が得られない、想定以上に土地が潰れるため同意を得られない、地元の迂回路の関係等で調整に時間を要した、などが主な理由。

優先順位の基準は関係戸数、投資効果、緊急車両が通るか、交通事故の削減の可否、用地の了解が得られているか等、総合的に判断して優先順位をつけている。

**田中議員** 用地の問題が事業が進まない主な原因だと思っ。本年3月の農林水産・建設委員会でも道路改良の要望があった時、きちんと用地の了解を取らないと、工事が遅れてくるとの質疑もあっている。今後事業が出来ただけ年度内に完成するには、用地の了解が出来ている所から事業に着手すべきと思っが市長の考

えは。

**松本市長** 同感である。地元で用地のことがしつかりまとめあげられてから先に進むわけであるから、道路の要望がある時は、真っ先に用地の件を申し上げている。

**田中議員** そのような方向で是非進めて頂きたい。そうすることが、線越事業が少なくなる要因になると思っ。

**統合により廃校となった跡地の利活用について**

**田中議員** どのような検討がなされているのか。

**松本市長** 平成25年度末までに廃校になった施設、学校について、26年度中に利活用の報告がまとめられ、実際の利活用に向けた取り組みを始めていく。

平成26年度、27年度に廃校になった学校施設については、地元の意向などを聞いて、必要な資料の取りまとめが終了したので、検討委員会を開催する。